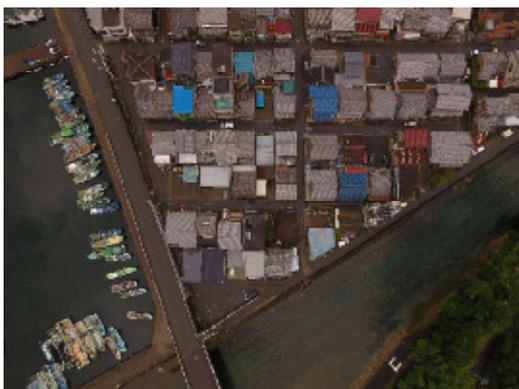


## 南伊勢町 UAV（ドローン）防災活用プロジェクト

平成29年度「南伊勢町UAV（ドローン）防災活用PJ」CLL活動では、昨年度に引き続きドローンを用いて撮影した画像を南伊勢町の地域防災に活用することを目的としています。南伊勢町はこれまで津波の被害を受けてきた歴史などから、将来の地震災害に備えて役場の防災課や各自治会が主体となり非常に熱心に、独創的・个性的な各種防災・減災対策に取り組んでいます。それらの中でも、本活動ではドローンによって避難所周辺の空撮を行うことにより、従来よりも詳細で視覚的にわかりやすいハザードマップの作成と、災害弱者である高齢者や児童を中心とした地域住民の方々への避難情報の提示を目指しています。ドローンによる空撮ではハザードマップの作成だけではなく、各地域を空撮動画で撮影することでその地域に関心をもってもらえるような活動もしています。また本活動では、空撮だけではなく、撮影範囲を隅々まで歩き、避難経路付近で崩れやすそうな塀などの危険箇所や、避難行動が困難と考えられる急傾斜地や狭い道なども現地調査を行い、ドローン画像によるハザードマップに盛り込むことを目指しています。今年度は南伊勢町古和浦地区などでの現地調査を開始しています。古和浦地区には昭和南海地震の被害記録が残っており、ハザードマップの作成、提示と共に地震の記録を調査し、地域の人に周知してもらおうことでより多くの視点から防災を考えてもらえることを目指しています。



活動実施主体：南伊勢町役場  
担当教員：近藤 玲介（教育開発センター）